

正 誤 表

『日本臨床栄養代謝学会 JSPEN テキストブック』（第1版 第1刷）

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
9	下から3行目	臥症	臥床
31	下から2行目	約1~2m程の細かいサイズ	約1~2mm程の細かいサイズ
31	図1 コレシトキニンの作用	膵酵素・塩酸分泌, 胆嚢収縮	膵酵素・塩酸分泌抑制, 胆嚢収縮
35	最終行	たんぱく質	たんぱく質
37	16行目	モノグリセイリド	モノグリセリド
64	図1	主な脂肪酸の化学式 飽和脂肪酸 : $C_nH_{2n+1}COOH$ 1価不飽和脂肪酸 : $C_nH_{2n-1}COOH$ 多価不飽和脂肪酸 : $C_nH_{2n-3}COOH$ $C_nH_{2n-5}COOH$	主な脂肪酸の化学式 飽和脂肪酸 : $C_nH_{2n}O_2$ 1価不飽和脂肪酸 : $C_nH_{2n-2}O_2$ 多価不飽和脂肪酸 : $C_nH_{2n-(2 \times \text{重結合の数} \times 2)}O_2$
67	7行目	ジホモ- γ -リノール酸	ジホモ- γ -リノレン酸
67	下から11行目	骨核	骨格
78	表4 E (mg α -TE)	トコフェノール酢酸エステル	トコフェロール酢酸エステル
86	表1 男性目標量/6~7歳	1	10

87	表2 不溶性食物繊維/植物性 由来/細胞壁	セミロース	セルロース
93	3行目	低減する図る	低減を図る
100	7行目	細胞内に Na を多く，細胞外に K ⁺ を多く	細胞内に K ⁺ を多く，細胞外に Na ⁺ を多く
107	図7	組織間液(600mL×3/4)+(360mL×3/12)=600mL	組織間液(600mL×3/4)+(600mL×3/12)=600mL
110	15行目	状況に応じ最大で40mEq/Lの速度で， <u>40mEq/</u> 時の補正速度は許容されうる。	状況に応じ最大で40mEq/Lの速度で， <u>20mEq/時</u> の 補正速度は許容されうる。
134	表2の1列1行目	血清 Alb (<u>mg/dL</u>)	血清 Alb (<u>g/dL</u>)
145	図7	kg	cm
146	図9	kg	cm
166	2行目	尿中窒素量値	尿中尿素窒素排泄量値
169	表1	Weirの式 $\dot{V}CO(2L/日)$ 簡易式 $3.94 \times \dot{V}O(2mL/分) + 1.11 \times \dot{V}CO_2(mL/分) \times 1.44$	Weirの式 $\dot{V}CO_2(L/日)$ 簡易式 $[3.94 \times \dot{V}O_2(mL/分) + 1.11 \times \dot{V}CO_2(mL/分)] \times 1.44$
195	12行目	糖尿病患者	糖尿病患者
205	23行目	9kcal/kg	9kcal/g
206	図5 中段 cyclic TPN (feeding) 周期的投与法	(例) <u>200mL/時</u> で12時間投与する	(例) <u>100mL/時</u> で12時間投与する
208	4行目	困難場合な	困難な

209	表1の2. Harris-Benedictの式の女性の推定式の末尾	- <u>4.675</u>	-4.675 <u>6a</u>
212	表5.「静脈栄養」の列・「カルシウム」の項	<u>5~7.5mEq/kg</u>	10~15mEq
212	表5.「静脈栄養」の列・「マグネシウム」の項	<u>4~10mEq/kg</u>	8~20mEq
212	表5.「静脈栄養」の列・「リン」の項	<u>20~40mEq/kg</u>	20~40mmol
231	3~5行目	現在、算定が可能な製品は粘度の高い製品に限られ、医薬品のラコールNF経腸栄養用半固形剤と食品のカームソリッド、メイグッドの3製品に限定されている。	算定の対象となるのは、投与時間の短縮が可能な形状にあらかじめ調整された半固形栄養剤等（医薬品または食品）であり、食品扱いの製品を使用する場合は、入院中の患者に対して退院時に当該指導管理を行っている必要がある。
235	下から8行目	へパンED（医薬品、 <u>消化態</u> 栄養剤	へパンED（医薬品、 <u>成分</u> 栄養剤
241	図1の左側YESの下の欄	経 <u>静脈</u> 栄養	経 <u>腸</u> 栄養
247	24行目	<u>血糖値</u> 、肝機能、腎機能、 <u>血糖値</u> 、電解質などのモニタリング	肝機能、腎機能、 <u>血糖値</u> 、電解質などのモニタリング
256	5行目	ISO80369- <u>2</u>	ISO80369- <u>3</u>
263	9行目	皮膚保護材をうまく <u>使い</u> ことも有用である	皮膚保護材をうまく <u>使う</u> ことも有用である
303	表6の2, 8行目	カテール	カテーテル
408	6行目	病変病変	病変
411	6行目	長疾患	腸疾患
420	17行目	経静脈栄養群	経静脈栄養

427	3行目	必須アミノ酸やアルギニンを多く含む	必須アミノ酸を多く含む
433	図2	開腹意欲の励起	回復意欲の励起
545	8行目	群 (37.9±6.5kcal/kg/日) 群	群 (37.9±6.5kcal/kg/日)
575	表7	試験回復	試験開腹
579	27行目	胃内で胃酸により <u>ペプシン</u> が活性化し <u>ペプシノーゲン</u> となり	胃内で胃酸により <u>ペプシノーゲン</u> が活性化し <u>ペプシン</u> となり
579	28行目	胃酸・ <u>ペプシン</u> の分泌は少ないため	胃酸・ <u>ペプシノーゲン</u> の分泌は少ないため
587	2行目	小児おける	小児における
609	6行目	軽傷	軽症

2024年10月16日

株式会社南江堂